



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名      ロート製薬株式会社      上場取引所      東  
 コード番号      4527      URL      https://www.rohto.co.jp/  
 代表者 (役職名)      代表取締役会長兼社長      (氏名)      山田 邦雄  
 問合せ先責任者 (役職名)      取締役副社長      (氏名)      斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223  
 四半期報告書提出予定日      2019年2月14日      配当支払開始予定日      —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無      : 有  
 四半期決算説明会開催の有無      : 有      (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	134,695	8.5	17,192	10.2	17,621	11.9	10,871	7.6
2018年3月期第3四半期	124,109	11.4	15,607	25.9	15,753	21.5	10,102	20.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 8,459百万円(△44.6%) 2018年3月期第3四半期 15,276百万円(116.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	95.40	95.03
2018年3月期第3四半期	88.68	88.31

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	202,231	134,206	65.8
2018年3月期	198,166	128,440	64.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 133,009百万円 2018年3月期 127,124百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2019年3月期	—	11.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	14.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(2019年2月13日)公表いたしました「2019年3月期 配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,300	6.7	21,400	12.1	21,800	15.7	13,300	43.2	116.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期3Q	117,989,908株	2018年3月期	117,936,284株
2019年3月期3Q	4,018,882株	2018年3月期	4,018,851株
2019年3月期3Q	113,951,302株	2018年3月期3Q	113,917,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調を続けてまいりました。一方で米中貿易摩擦への懸念など、海外経済の不確実性の高まりにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,346億9千5百万円（前年同期比 8.5%増）となりました。日本においては、高付加価値品が好調に推移していますが、暖冬傾向が続いていることにより保湿系のスキンケア関連品が伸び悩みました。また、インバウンド需要も成長率は鈍化しております。一方、海外におきましては、アジアで米中貿易摩擦の影響が懸念されましたが堅調に推移しております。また、アメリカやヨーロッパも増収に寄与いたしました。

利益面につきましては、売上高が好調に推移したことにより、営業利益は171億9千2百万円（同 10.2%増）、経常利益は176億2千1百万円（同 11.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は108億7千1百万円（同 7.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (日本)

外部顧客への売上高は、842億4千9百万円（前年同期比 6.2%増）となりました。

主力のスキンケア関連品は、高機能眼科用薬「Vロートアクティブプレミアム」が好調なことに加え、人気アニメとコラボレーションした「ロートリセ」シリーズなども増収に寄与しました。また、新製品「1 DAYフレッシュビュー」が好調であったコンタクトレンズも順調に推移いたしました。一方、スキンケア関連品につきましては、暖冬傾向が続く中、保湿市場が伸び悩んでおり、「メンソレータムADクリーム」やリップクリーム、ハンドクリームなどが減収となりました。また、「メラノCC薬用しみ集中対策美容液」などインバウンド需要も減速気味です。一方、壮年性脱毛症における発毛、育毛及び脱毛の進行予防の効能・効果をもつ発毛成分ミノキシジルを国内最大濃度配合した「リグロ」や年齢と共に変化する大人女性のニオイをケアする「デオコ」など新製品が増収に寄与しております。内服関連品は、漢方・生薬ブランド「和漢箋」から新発売された皮下脂肪が多く便秘がちな方の肥満症に効く「新・ロート防風通聖散錠ZII」や「ロートV5粒」などが順調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことにより、107億6千1百万円（同 4.3%増）となりました。

#### (アメリカ)

外部顧客への売上高は、67億5千6百万円（前年同期比 22.6%増）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により緩やかな回復基調にあることもあり、目薬やリップクリームが好調に推移したことに加え、前連結会計年度末より新たに連結したブラジルのオフサルモス社も増収に寄与しております。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したものの、広告宣伝費が増加したことにより1千4百万円（同 72.4%減）と減益となりました。

#### (ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、65億7千6百万円（前年同期比 5.7%増）となりました。

主力の消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが堅調に推移しており、ダクス・コスメティクス社も増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したものの、広告宣伝費が増加したことにより3億1千9百万円（同 11.1%減）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、356億6千5百万円（前年同期比 13.5%増）となりました。

売上につきましては、リップクリームや「粧潤」シリーズを発売した肌ラボブランドが好調なことに加え、目薬も堅調に推移しております。国別では、中国の売上が順調なことに加えインドネシアなどASEAN諸国も堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え広告宣伝費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、57億5千1百万円（同 25.8%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、14億4千8百万円（前年同期比 11.7%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、1億3千2百万円（同 12.3%減）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は2,022億3千1百万円となり、前連結会計年度末より40億6千5百万円増加いたしました。これは、商品及び製品が48億2千8百万円、現金及び預金が37億1千4百万円、原材料及び貯蔵品が15億7千7百万円それぞれ増加した一方、電子記録債権が35億8千万円、受取手形及び売掛金が28億2千9百万円、投資有価証券が13億6千5百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は680億2千5百万円となり、前連結会計年度末より17億円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が4億1千5百万円増加した一方、賞与引当金が12億1千4百万円、未払法人税等が8億3千6百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,342億6百万円となり、前連結会計年度末より57億6千6百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が83億6千4百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が19億6千3百万円、為替換算調整勘定が4億6千5百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、2018年11月13日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,532	34,246
受取手形及び売掛金	37,042	34,213
電子記録債権	13,305	9,725
商品及び製品	14,918	19,746
仕掛品	2,620	2,727
原材料及び貯蔵品	8,690	10,267
その他	3,322	4,706
貸倒引当金	△383	△465
流動資産合計	110,050	115,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,547	20,098
その他（純額）	26,645	27,835
有形固定資産合計	47,193	47,933
無形固定資産		
のれん	1,503	1,153
その他	2,604	2,321
無形固定資産合計	4,108	3,474
投資その他の資産		
投資有価証券	32,328	30,963
その他	7,049	7,548
貸倒引当金	△2,562	△2,857
投資その他の資産合計	36,815	35,653
固定資産合計	88,116	87,062
資産合計	198,166	202,231
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,098	12,514
電子記録債務	2,974	3,060
短期借入金	4,151	4,345
未払費用	24,599	24,772
未払法人税等	3,827	2,990
賞与引当金	2,285	1,071
役員賞与引当金	30	30
返品調整引当金	696	705
売上割戻引当金	2,742	2,232
その他	7,926	7,905
流動負債合計	61,332	59,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,702	1,516
退職給付に係る負債	3,968	3,771
債務保証損失引当金	1,491	1,709
その他	1,231	1,399
固定負債合計	8,393	8,396
<b>負債合計</b>	<b>69,725</b>	<b>68,025</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,415	6,446
資本剰余金	5,737	5,603
利益剰余金	112,696	121,061
自己株式	△4,935	△4,935
株主資本合計	119,915	128,176
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	8,220	6,256
為替換算調整勘定	463	△1
退職給付に係る調整累計額	△1,474	△1,421
その他の包括利益累計額合計	7,209	4,833
新株予約権	560	498
非支配株主持分	755	698
純資産合計	128,440	134,206
<b>負債純資産合計</b>	<b>198,166</b>	<b>202,231</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	124,109	134,695
売上原価	51,487	54,495
売上総利益	72,622	80,200
返品調整引当金繰入額	100	9
差引売上総利益	72,522	80,191
販売費及び一般管理費	56,915	62,998
営業利益	15,607	17,192
営業外収益		
受取利息	178	267
受取配当金	313	368
その他	257	249
営業外収益合計	748	885
営業外費用		
支払利息	101	109
持分法による投資損失	370	74
その他	130	272
営業外費用合計	602	456
経常利益	15,753	17,621
特別損失		
固定資産除却損	—	151
投資有価証券評価損	2	170
関係会社株式評価損	0	299
貸倒引当金繰入額	240	210
関係会社貸倒引当金繰入額	3	9
債務保証損失引当金繰入額	295	218
特別損失合計	540	1,058
税金等調整前四半期純利益	15,212	16,563
法人税等	5,109	5,652
四半期純利益	10,102	10,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,102	10,871



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	10,102	10,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,813	△1,947
為替換算調整勘定	1,238	△564
退職給付に係る調整額	67	52
持分法適用会社に対する持分相当額	54	7
その他の包括利益合計	5,173	△2,451
四半期包括利益	15,276	8,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,277	8,494
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	79,305	5,513	6,221	31,429	122,470	1,639	124,109	—	124,109
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,904	1,046	15	2,213	5,179	60	5,240	△5,240	—
計	81,209	6,559	6,236	33,643	127,650	1,700	129,350	△5,240	124,109
セグメント利益	10,313	53	359	4,570	15,296	151	15,447	159	15,607

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額159百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	84,249	6,756	6,576	35,665	133,247	1,448	134,695	—	134,695
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,575	938	129	2,403	6,047	84	6,132	△6,132	—
計	86,824	7,695	6,705	38,069	139,294	1,532	140,827	△6,132	134,695
セグメント利益	10,761	14	319	5,751	16,847	132	16,980	212	17,192

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額212百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。